

⑤→このエントリーは値ごろ感で利確することなくしっかり天井を見て、利確ラインで利確出来た。

正直14000の含み益になった時点で利確したくてうずうずしたし、実際そこで利確するのが良かったけど、ここで利確したら将来得られるトータル利益が少なくなるし、値ごろ感で利確する癖が一生抜けないと強い気持ちでホールド利益は減ったがこれで良かった。まずこれくらいホールドする気持ちが無かったら70ティックも握れないから最大値幅を取ったと言っていると思う。

⑥→まだ上がるだろうと、値ごろ感でエントリー。自信がなく損切ラインも超狭いトレードやる意味なかった。

⑦自信があるパターンだったのに、エントリー条件が整うタイミングで上げすぎてローソクの形が崩れてしまった。完全に自信がある形でないのにエントリーした。損切ラインも少し広げてしまった。

自信がある形の時は、どこまで下げるかわからないから足が変わるのを待つしかなかったけど、足が変わったら、ローソクが崩れてしまっていた。本当のチャンスでないのに、エントリーしてしまった。

⑧→このエントリーも完全なチャンスでは無く上がりそうだからという理由だけ。利確になってるけど運だけ。伸ばそうとしていたら絶対損切になっていた。反応があったらすぐ利確。これを100回続けてトータルプラスに絶対ならないからやめたい。

⑨→そろそろこのくらいでリバるだろうと値ごろ感の逆張り。反省しているとなんでこんな値ごろ感でトレードしてるんだろと俯瞰して見れるが、トレード当時はこの近辺が全てチャンスゾーンに感じてしまっているのが原因。

10時くらいまで上げていて、その押しが来たのだろうと順張りのつもりが値ごろ感の逆張りになっていて、伸ばそうとして、損切ラインまで握って全部損切になるという流れ。

ここでこれを宣言する。『値ごろ感でチャンスだと思う場所は全部だまし』そこが起点になって上昇・下落してもそれは運でしかなくトータルプラスにならない行為である。

⑩→ずっと狙っていたが、どんどん下に下がってきて、たまらず飛びついて微益利確。中途半端に待って、最悪な場所でエントリー

⑪→エントリー位置は最高。しかし、微益利確してしまった。

やはりこういうきちんとした位置でエントリーして、ポジションを持ったら損切することと利確することだけ考えて余計な感情を入れない。値ごろ感でエントリーしたい場所は全部だまし。たまに上昇・下落の起点となることはあるがそこに期待値は無くただの運でしかない。と固く誓ってポジションを持つからには決めた通りやることだけ考えないといけない

⑫→最悪なトレード。上昇トレンドに転換するだましに引っかかった。冷静な時ならトレンドに乗る可能性が高まるラインまで待って、押した位置でかつ損切が少ない位置を待てるのに、収支バリアが1万円ほどあって、少々確認しなくても大丈夫だろうと確認不足のまま置いていかれたく無いから焦ってエントリー。それで往復ビンタ。最悪すぎる

⑬→まだ収支バリアあるからと、しょうもない位置でエントリー最悪すぎる

⑭→久しぶりにロングでクロー징してみた。

前日から大幅に下落していて、ETFの換金売りも昨日と今日の下落である程度こなしていたのではということ、大衆は下がると思っている人の方が多いことから、換金売りよりも大口の買い需要の方が高まると踏んだ。

また、15:24:30くらいまで引き付けていて売り引け注文より買い引け注文の方が多く。

リスク限定されつつ、上に跳ぶ時はすごく跳びそうと考えた。結果はほぼ変わらず。

ある程度読みは当たっていたが、換金売りもやはりすごくて、買い需要と拮抗した形になった。

やはり、チャンスだなと思ってギャンブル行為だなと感じた。

自分の判断で損切額を決定できない時点でギャンブル。クロー징はもっとデータを集める必要がある。

何となくでは取引しきらないし、自信あったけどダメだった